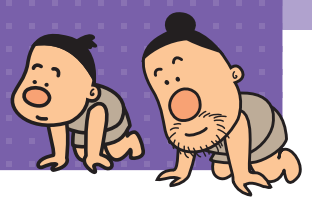




発掘調査情報



平成29年度に鳥取県内で実施された発掘調査の中から注目される成果があった遺跡をご紹介します。
※掲載した調査はすべて終了しています。

●鳥取市の発掘調査情報

史跡鳥取城跡（第41次発掘調査）【しせきとっとりじょうあと】

こんな遺跡 本丸から堀へと続く全長100mの大型排水路の全容が明らかとなりました。建物沿いを屈折しながら続き、出口付近には大型の沈砂柵に流れ込んだ後、きれいな水のみを堀へ流し出す仕組みとなっています。雨水排水の処理経路の全体がわかる貴重な調査例となりました。



▲見つかった大型排水と柵

問合せ

鳥取市教育委員会文化財課 電話 (0857) 20-3359

●倉吉市の発掘調査情報

平ノ前遺跡【ひらのまえいせき】

こんな遺跡 古墳時代前期初頭の溝1条と鎌倉時代以降に建てられた掘立柱建物が2棟見つかりました。遺物は縄文土器や土器などが出土しています。



▲平ノ前遺跡で見つかった溝（北東から）

小鴨道祖神遺跡【おがもさいのかみいせき】

こんな遺跡 飛鳥時代から奈良時代の集落跡です。竪穴建物2棟、掘立柱建物18棟などがみつかりました。遺物は坏や壺のほか、煮炊きにする移動式のかまどや土製支脚、祭祀に使う土馬（どば）などが出土しています。



▲小鴨道祖神遺跡の掘立柱建物群（北東から）
※白線部分が建物跡

問合せ

鳥取県教育文化財団調査室

- 電話 (0857) 51-7553
- ファクシミリ (0857) 51-7550
- ホームページ http://kyo-bun.sakura.ne.jp/chosasitsu_new.htm

出前講演情報

●講演テーマ 埋められた大量の銭貨 —下坂本清合遺跡の発掘調査成果から—

「一銭を笑うものは一銭に泣く」という諺をご存じでしょうか。たとえ少額であっても金銭は大事にしなければならないという戒め、節約や貯蓄を勧める言葉です。鳥取市気高町に所在する下坂本清合遺跡では、室町時代の備前焼壺のなかに納められた約15,000枚もの銭貨が小さな穴に大切に埋められていました。発見された銭貨はいずれも「精銭」と呼ばれる品質が高いもの。埋められた明確な理由はわかりませんが、将来不安のための蓄え、子孫に残すため、あるいは神に捧げる呪術的な意味合いなど、いくつかの可能性が考えられます。当時から現在も大切なお金に対する思いは変わらないようです。



講演者
小口英一郎